



## プロのノウハウをすべて教える専門校。



ホロボディの12弦ギター。  
アート高級のギターも製作可能。  
当校ならではのユニークデザイン。  
センスが光る正統派/  
複雑なカスタム・ペイントも実現!

海外研修を含めた視野の広い  
ギターエンジニアを養成!

### ギターエンジニア 養成本科 (2年制)

当カリキュラムは2年間に渡って実施されます。1年次は3タイプの基本構造(デタッチ、セット、スルー)を持ったギター製作を学び、年間の実技製作が必修課題。それと並行してJRIA技術・音楽工学構造学・ギター史などの講義、実技も豊富に基礎固めを行います。そして2年次には、発想を最大限に生かしたフルオリジナル設計製作理論、フルアートやミニフュアコースティックといった高級ギター製作技術を学び、日本のオリジナル自由課題を製作します。その他の課目もさらに実践的にグレードアップされ、視野を広げるためのアメリカへの研修など、トータルな視点に立った理想のカリキュラムを実現。

本校が可能にした年間6本の  
作品製作カリキュラムにより  
ギターエンジニアを養成!

### ギターエンジニア 特別集中養成科 (1年制)

当カリキュラムはリットギター製作を中心とした実践基礎課程です。製作、リペア、音楽工学などのベースとなる講義は本科1年次と並行して行い、ギター製作実技において本校が実現したゆくりのある授業時間をフルに生かし、年間の必修課題をスムーズにこなせる特別カリキュラムが組まれています。これまでの実績が示す通り、1年間で充実した技術習得を誇っています。



▲イメージのラフ・スケッチ。この段階で基本的な仕様が決まる。  
▲正確な製図は確かなギター設計への第一歩。夢がふくらむ時刻だ。  
▲最も楽しい材料選び。豊富な高級材の中からセレクトできるからだ。



▲ハンディ・ルーターは便利木工万能マシン。卒業までにパッチリ、マスター。  
▲ギター・エンジニアに必要な不可欠なハンド・メイド加工。  
▲互いのディスカッションが、時には新しいアイデアを生み出す。



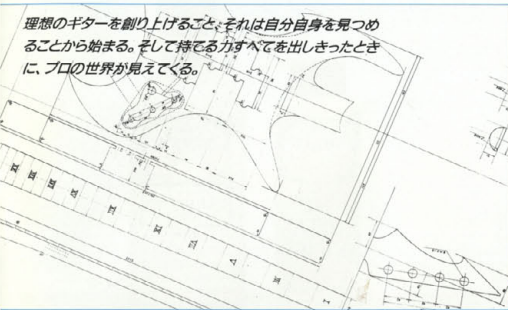
▲プロ・モデルの解析は大切な研究だ。  
▲ギター・レッスンにはブランド上と楽しむ授業のひとつ。



▲ギターのカムフラージュを決定づけよう。ミニコンシンプ。  
▲個性派。バリエーション・ギター。  
▲ロックン・ロールにもって来よう!



▲決して庶生コンテストではありません。  
▲急激のベースを完成。サウンドもGOOD。



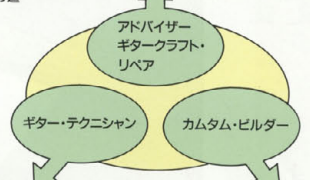
理想のギターを創り上げること。それは自分自身を見つめることから始まる。そして持てる力をすべてを出さったときに、プロの世界が見えてくる。



トロピカルなペイントが映えています。  
アクティブ回路搭載の弦拾いペース。  
▲ギタリスト齊藤泰之氏は自分のギター観を語ってくれた。  
▲ギター・レッスン、本日の特別講師は顧問教員。超速弾きに生徒もアガレ。  
▲アクティブ・ピックアップの本案、本元、EMGのロバート・ターナー氏が直接講義。

### 卒業後の進路は3タイプの道が開けます。

- カスタム・ビルダー
- ギター・テクニシャン
- アドバイザー
- メーカーブランドの企画・営業・制作スタッフとして
- ギター・メーカーでのギター・リペア・スタッフとして
- 楽器店などで、ギター・リペア技術を持ったスタッフとしての道



- メーカーでのモニター・ミュージシャンのサポート・スタッフ
- 音楽事務所でのプレイヤー・サポート・スタッフ
- カスタムギター・ショップでの製作やリペア
- ギター・メーカーのファクトリーでギター製作
- メーカーでのプロ・ミュージシャンに対応したカスタム・ギター製作

ギター・テクニシャンとは  
ミュージシャンと密着し、コッポラ・レコーディング時、常にミュージシャンの求めるセッティングを確実キープする数々のテクニックを使った仕事です。



▲2作目のベースをチェックする"DOOM"のK-MCHOTA講師。  
▲生徒作品を真剣に見入る"ワルブ"の黒木政彦氏。



▲ベースist-BAN。突然の来校。こんなハブニングもしゃべっちゃうだ。  
▲"ZIGGY"松尾崇仁氏は一般では語ることもできない秘話語ってくれた。



▲"BLIZARD"の松川敬也氏。レクチュア後の楽しいディスカッション。  
▲自分のギターは自分の手で。と"チューブ"のギタリスト・豊道直哉氏は本校にてインテリゲンツク。

布袋寅泰氏 [ギタリスト]

和田アキラ氏 [リズムギタリスト]

色々なジャンルがあるけれど、僕は正統派的にROCKN ROLLが好きです。感性が一番近い音でプレイできるのがいいですね。でも、自分の個性をストレートに表現するために、僕はクラフトマンと共にオリジナルメイカのギターを、ブランドで使っています。徹底的にニュアンスまでつかまえていて、求めても、音に出さないうまくなる。僕が思うには、ギターは、"プレイ"に於いて、"プレイ"こそが、この学校から育ててくれるのを大切に期待している。